

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年11月29日
事業者名:	西濃建設株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	太陽光発電設備による再生可能エネルギーの活用 国内大型太陽光プロジェクトへの施工協力 本社屋根の太陽光発電システム設置によるCO2削減 当社主催の企業向けセミナー(10回/年程度開催)において、再エネ太陽光の有効性を伝えている アスファルト合材に於ける、3Rの取組・再利用・再資源化率100%	⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、⑫つ くる責任 つかう責任、⑬ 気候変動に具体的な対策を	太陽光発電設備による再生可能エネルギーの活用ではグループ全体で30MW発電中	指標	二酸化炭素の排出量
				目標	2030年度までに令和4年度比20%以上の削減を達成する為、6MW太陽光発電設備設置施工協力を行う。
社会	地域の小中学校へ入学祝として文房具を贈呈 社員のインフルエンザ予防接種費用の全額補助 ICTの活用・諸外国の新技术導入により生産性の向上・労働時間の短縮を図り健康的な生活を送る 地元中学生、高校生の職場体験を受け入れる	③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑧働きがいも経済成長も	令和4年度 3校 高校 1 校 中学 受入 令和5年度 3校 高校 1 校 中学 受入	指標	職場体験受入れ件数
				目標	令和8年度までに延べ10校受入
経済	土木工事の確かな技術を通して、社会のインフラ整備に貢献 公共インフラ(各種構造物)の老朽化に伴う維持補修の技術を導入 災害発生時の水防用資材及び資材輸送車両の調達協力施設(揖斐川水防事務組合) 建設工事で発生する廃棄物の管理を行ない、環境上の悪影響の低減に取り組む いび森林資源活用センター協同組合と協調した森林の保護育成	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑪住み続けられるまちづくりを、⑯平和と公平をすべての人に	土木工事の確かな技術を通して、社会のインフラ整備に貢献しています	指標	ICTの活用・諸外国の新技术導入
				目標	2030年までにICT技術、諸外国の新技术を活用・導入する施工現場50%以上を目指す
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 社内会議などで進捗状況の把握を行い、事業の改善策を検討している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				